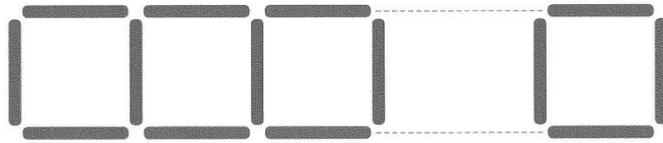
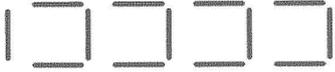


文字を使った式

• 下の図のように、長さが等しい棒を並べて、正方形を横一列につくっていきます。

正方形を20個つくる時、棒は何本必要でしょうか。



正方形が4個のときは、 $(1 + 3 \times \square)$ 本

正方形が5個のときは、 $(1 + 3 \times \square)$ 本

つまり

正方形の個数がいくつであっても、棒の本数は、 $1 + 3 \times (\text{正方形の個数})$ という式で表すことができる。

正方形の個数を文字 a を使って表すと、正方形を a 個つくる時の棒の本数は、

$(1 + 3 \times \square)$ 本 という式で表すことができる。

• a や x などの文字を使って表した式を \square という。

例1. 次の数量を、文字式で表しなさい。

(1) 代金 x 円の買い物をして、1000円札を出したときのおつりは、 $(\square - \square)$ 円

(2) 長さ a mのひもを3等分したときの1本の長さは、 $(\square \div \square)$ m

例2. 次の数量を、文字式で表しなさい。

1冊120円のノート a 冊の代金は、 $(\square \times \square)$ 円

1本100円のボールペン b 本の代金は、 $(\square \times \square)$ 円

これらの代金の合計は、 $(\square \times \square + \square \times \square)$ 円